

競技注意事項

1. 本大会は、平成25年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。また25年4月から改修工事を終了するまで倉敷運動公園陸上競技場は公認を解除されているため、優秀な記録が出ても公認されない。
2. 参加種目は一人2種目までとする。
リレー2種目には出場できない。
リレーの補欠は1種目と数える。
3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)
4. コールは行わない。競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、(フィールド種目も) 係の指示に従うこと。
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
また本年度より、1回目のスタートでフライングがあった場合、2回目以降のスタートでは、フライングした選手を即失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)
6. 100m, 80mハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、ゴール後は自分のレーンにもどること。
7. リレーにおけるテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認める。
8. 100m及びリレー種目は、**決勝を実施する**。ただし80Hと長距離種目は、小学生の体力を考慮し、タイムレース決勝とする。
走り幅跳びは、全員3回の試技を行い、各学年の部とも上位8名が残り3回の試技を行い、6回の試技で順位を決定する。走高跳の試技は1mから開始する。
ソフトボール投げは、全国大会のルールに従い、全員3回の試技のみで順位を決定する。
助走距離は15m以内とする。
どの種目も表彰は各学年の部別、男女別に行う。
9. 各種目とも上位6位までを表彰する。参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと)記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。
10. **各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。**
11. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、**必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。**
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. 昼食はスタンドでとって構わないが、**ごみは各自持ち帰ること。**
14. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。

